

社会資本総合整備計画

平成28年3月30日

計画の名称	5 鉄道立体による地域間交流の円滑化計画（防災・安全）	重点計画の該当	○
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付団体	横浜市
計画の目標			

天王町駅付近から横浜新道付近にかけて鉄道を高架化することにより、地域交通の円滑化及び、地域の一体化による生活環境の向上や踏切事故の解消を図ります。

計画の成果目標（定量的指標）	事業区間内の開かずの踏切数を8箇所削減する。
----------------	------------------------

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)									
事業区間内の開かずの踏切数（ピーク時の踏切交通遮断時間が40分以上の踏切）	8箇所	—	0箇所									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	10,310 百万円	A	10,310 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業																			
A 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
												H26	H27	H28	H29	H30			
5-A-1	街路	一般	横浜市	直接		S街路	改築		星川天王町駅間連続立体交差	鉄道高架 1.9km	横浜市						10,310		
合計																10,310			
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
											H26	H27	H28	H29	H30				
合計																0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考		
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
											H26	H27	H28	H29	H30				
合計																0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付 対象	直接 間接	事業者	率 (基本)	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
										H28	H29	H30	H31	H32					
合計																0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)			4,455	2,007	
計画別流用増△減額 (b)			0		
交付額 (c=a+b)			4,455	2,007	
前年度からの繰越額 (d)			0	742	
支払済額 (e)			3,713		
翌年度繰越額 (f)			742		
うち未契約繰越額 (g)			0		
不用額 (h=c+d-e-f)			0		
未契約繰越+不用率 (h=(g+h)/(c+d))			0.00%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3)

参考図面

計画の名称	5 鉄道立体による地域間交流の円滑化計画 (防災・安全)		
計画の期間	平成26年度～平成30年度 (5年間)	交付対象	横浜市

